

令和元年10月25日
独立行政法人日本スポーツ振興センター
広報室

＜独自調査＞図書館利用者の約8割がスポーツ実施に前向き

図書館とスポーツのコラボレーションで行政課題解決の可能性

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）は昨年度、図書館利用者のスポーツ習慣に関する実態調査、及びスポーツ実施者の図書館利用習慣に関する実態調査を行いました。調査の結果、図書館利用者の約8割がスポーツ実施に前向きであることがわかりました（図1）。

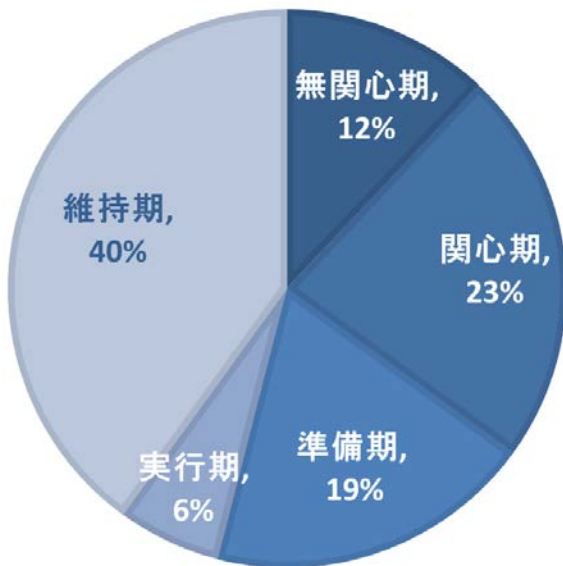


図1：図書館利用者のスポーツ習慣

行動変容ステージ

【維持期】私は現在、スポーツをしている。また、6か月以上継続している。

【実行期】私は、現在定期的にスポーツをしている。しかし、運動を始めてから6か月以内である。

【準備期】私は現在、スポーツをしている。しかし、定期的ではない。

【関心期】私は現在、スポーツをしていない。しかし、近い将来に運動を始めようと思っている。

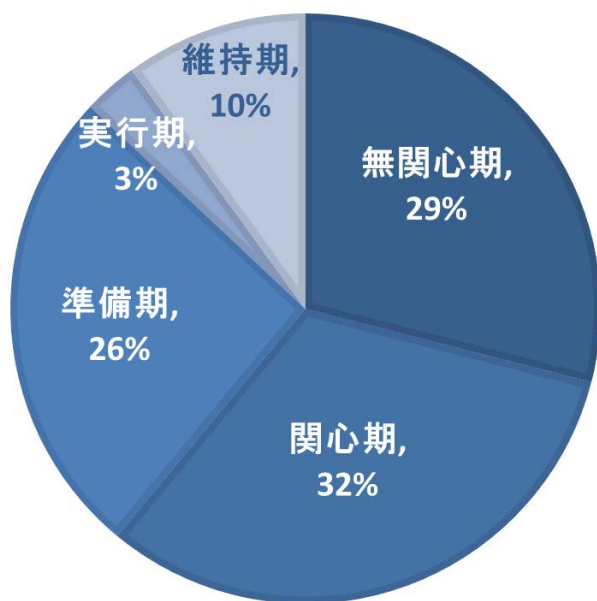
【無関心期】私は現在、スポーツをしていない。また、この先もするつもりはない。

※スポーツとは

サッカーや野球など競技スポーツだけでなく、散歩やウォーキング、体操、登山、ヨガ、筋力トレーニングなど、軽い運動あるいは自然に親しむ野外活動やレクリエーション活動など体を動かすものすべて含めて考えてください。

既に4割強の人が定期的にスポーツを行っています（維持期、実行期）が、今後定期的にスポーツに取り組む潜在層（準備期、関心期）が同じく4割程度存在するため、スポーツ実施率の向上を目指すにあたって、図書館利用者に対する施策も有効である可能性が示唆されます。実際に海外ではそのような取り組みの事例があり、米国マサチューセッツ州の学校では図書館に自転車型エクササイズマシンを設置したところ、読書を楽しみながら身体活動に取り組む生徒が増えたとの報告があります。

他方、スポーツ実施者に対する調査から浮かび上がったのは、スポーツ実施者のうち図書館を定期的に利用しているのはたったの1割強しかいないということでした（図2）。



行動変容ステージ

【維持期】私は現在、図書館を利用している。また、6か月以上継続している。

【実行期】私は、現在定期的に図書館を利用している。しかし、利用を始めてから6か月以内である。

【準備期】私は現在、図書館を利用している。しかし、定期的ではない。

【関心期】私は現在、図書館を利用していない。しかし、近い将来に利用したいと思っている。

【無関心期】私は現在、図書館を利用していない。また、この先もするつもりはない。

図2: スポーツ実施者の図書館利用

図書館の利用率向上は行政の大きな課題の一つですが、先の米国マサチューセッツ州の例では生徒の図書館利用が増えたという報告も合わせてなされており、スポーツを図書館に取り入れることで、スポーツに参画する人口を拡大するだけでなく、図書館側においても利用率の向上を図り、相互の課題解決に繋がることが期待できます。

【調査概要】

期間	2018年8月27日（月）～9月7日（金）
方法	質問紙調査
対象者	全国10自治体における図書館利用者及びスポーツ実施者の成人男女
回答数	474件（図書館利用者212件、スポーツ実施者262件）
主な設問	<p>図書館利用者対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ実施状況 ○図書館利用の時間帯 ○スポーツに関する関心 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは現在、どんなスポーツをしていますか ・あなたは今後、どんなスポーツをしてみたいですか ・あなたの興味・関心のあるスポーツは何ですか <p>スポーツ実施者対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館利用状況 ○スポーツ実施の時間帯 ○図書館や読書への関心 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは日頃、どのような本を読みますか ・あなたがよりスポーツを楽しむためにはどんな本を読んでみたいですか ・あなたが所属する団体と図書館との連携についてアイデアを教えてください

スポーツ実施率向上のための新しいアプローチ
「図書館×スポーツ」プロジェクトの実証テストを4自治体で実施中

今年度10月より JAPAN SPORT NETWORK※に加盟している茨城県鹿嶋市、東京都足立区、東京都江戸川区、滋賀県米原市の4つの自治体と共催で、図書館とスポーツを掛け合わせた新しい取り組みである「図書館×スポーツ」プロジェクトに向けた実証テストを行っています。足立区ではスポーツ未実施の傾向にある母親層をターゲットに『ちょいスポキャンペーン』を企画しバラエティ豊かな27のプログラムを実施したり、鹿嶋市では読書をしながらエクササイズができるバランスクッションコーナーや血圧や体重を測定できるヘルスコナーを設置したりしています。

※JSC・自治体・企業等で構成し、地域の社会課題をスポーツを通じて解決するためのプラットフォーム



スポーツ未実施者の行動特性に注目し、行動変容アプローチを用いたプロジェクトの実施で今後、新しい公共としての図書館とスポーツの価値を見出していきます。

取材のご案内

実証テストを行っている様子のご取材を受け付けています。図書館の中にはスポーツ実施を促す仕掛けや企画が見られ、実際に実証テストを通してリピーターとなっている利用者の方もいらっしゃいます。スポーツの秋の話題の一つとして是非ご検討ください。

お問い合わせは下記連絡先までお願いいたします。

■ 日本スポーツ振興センターホームページ
<https://www.jpnsport.go.jp/>

《お問合せ先》

独立行政法人日本スポーツ振興センター
(JAPAN SPORT COUNCIL)広報室
〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35
TEL: 03-5410-9121 FAX: 03-5410-9173